

ねむろ 市議会だより

第5号

平成25年8月1日

発行／根室市議会

根室市常盤町2の27
根室市議会事務局
TEL (0153) 23-6111
FAX (0153) 24-5820



去る6月28日に文化会館において、議会改革を主なテーマに「議会報告会」を開催しました。報告会としては今回が初めての開催であり、参加された市民は少なかったものの、議会改革に対する意見などをはじめ、幅広く活発な意見交換ができたところです。

今後とも市議会として、市民の皆様にわかりやすい開かれた議会を目指し、取り組んでまいります。

市議会では、議会運営の活性化・効率化などの自己改革に努めてきたところでありますが、本格的な地方分権時代を迎える中、議会としての機能を十分に発揮できる改革の推進が必要との観点から、平成21年12月に「議会改革調査等特別委員会」を設置し、これまで89回にわたる会議の開催、審議を重ね、その結果「議員定数の削減」、「政務活動費の使途状況の公開等」、また「議会基本条例の制定」などの議会改革を進めてきたところです。

次頁では、その概要についてご紹介します。

目 次

・ 議会改革の概要	2
・ 第2回定例会 会議日程・一般質問	3
・ 第2回定例会 採決一覧表	6
・ 第2回定例会 各委員会質疑等	8
・ 編集後記	8

「議会改革」の概要

1. 議員定数の削減

- ・次の一般選挙（平成25年9月1日投開票の市議会議員選挙）から、定数を2名削減し、18名へ。

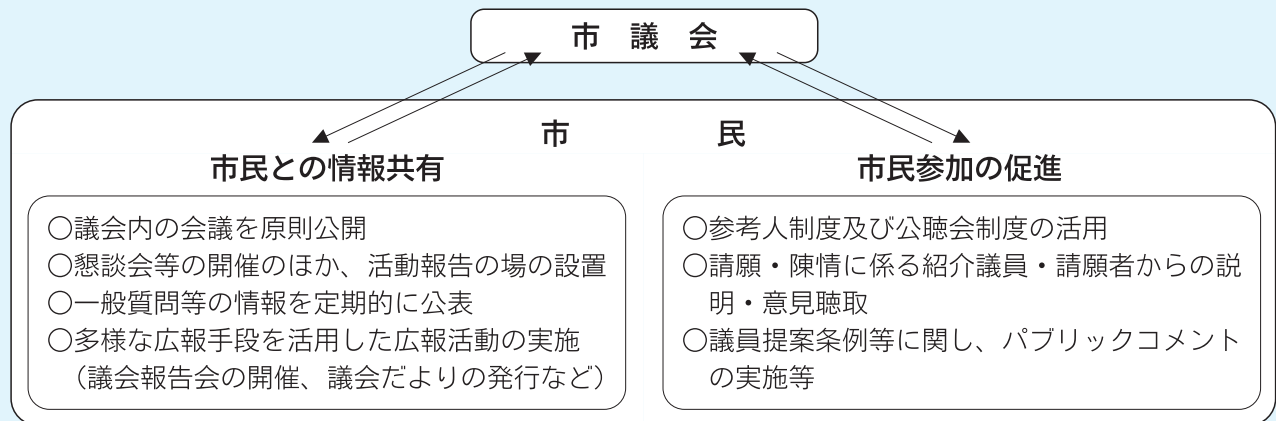
2. 政務活動費の使途状況の公開等

政務活動の範囲を拡大（北方領土対策活動や要請・陳情活動などを新設）し、政務活動費の議員一人当たりの年額を「10万円」から「24万円」へ増額するとともに、使途の透明性確保や適正運用を期するため、使途状況の公表の実施と閲覧を可能に。

3. 議会基本条例の制定

議会基本条例とは、議会の基本理念や基本方針など、議会に関する基本的事項を定める議会運営の最高規範です。議会基本条例で定める主な内容は下記のとおり。

（1）市民と議会の関係



（2）行政と議会の関係

●「一問一答方式」及び「反問権」の導入

本会議等の質疑において、論点や争点を明確にするため、一問一答方式及び市長等から議員への反問権（逆質問）を導入。

●政策提案の説明要求

市長等が議会に対し重要な政策・計画・事業等を提案するときは、審議に必要な情報として、背景・効果のほか、実施にあたっての財源や将来にわたっての費用などについて、市長等に説明を求める。

●採択請願への対応

市民の市政等への要望や意見を、法律の定めにしたがって議会に提出いただく請願について、議会が採択した請願のうち、市の事務に関わるものについては、市長等が実現に努めるとともに、対応の経過等を議会へ報告。

（3）議会の組織体制等

●議員間討論の活性化

議員間での討論を活性化し、意見集約された内容については、政策提言や議員提案条例の制定を目指す。

●通年議会の導入

これまでは年4回の定例会と臨時会が開催されていましたが、本年9月からは定例会を年1回とし、会期を通年へ。

（これにより議長の権限で緊急議会を開催し、緊急の行政課題等にも対応できるようになります。なお、これまで定例的に開催していた9月・12月・3月・6月の議会については、通年議会の中で定例月議会として開催します。）

第2回定例会 会議日程・一般質問

会期 平成25年 6月18日(火)～6月21日(金)〈4日間〉

6月18日(火) ○本会議(第1号) 開会／議会運営委員長報告／会期の決定／
議会改革に係わる審議結果報告／一般質問6人

6月19日(水) ○本会議(第2号) 一般質問4人／提出議案説明／
特別委員会設置・付託、常任委員会付託
報告第4号、第5号、第16号～第18号

6月20日(木) ○常任委員会 総務／議案第50号、第51号、第54号～第56号、報告第6号
文教厚生／議案第52号、第53号、報告第7号

6月21日(金) ○予算審査特別委員会 議案第57号、報告第8号～第15号
○本会議(第3号) 各委員長報告・採決／市長提出人事案件／意見書案／
議案第58号～議案第62号／閉会



鈴木 一彦 議員

【質問】消費税が増税されれば、市民の暮らしを直撃し、市中経済へも重大な影響を及ぼす。市民の暮らしを守る市行政として、国に対し消費税増税の中止を求めるときでは。

【答弁】経済状況や生活の実態を的確に把握し、より慎重な判断がされるよう、北海道市長会と連携し対応したい。

【質問】消費税増税が計画通りに行われた場合の市の公共料金のある方についてどのように考えているか。少なくとも、教育や福祉の分野での公共料金の値上げは

行ふべきではないと考えるが。

【答弁】行政コストや情勢の変化など、慎重かつ総合的に判断し、適正な料金体系の確保に努めていく。

また、議員指摘の、それぞれの施設や行政サービスにおける対応についても、「受益者負担の適正化」を図り、市民相互の負担の公平を基本として総合的に判断したい。

【意見】子どもたちが利用する場合には、市長が言う「市民相互の負担の公平」は当てはまらないことを指摘しておく。



橋本 竜一 議員

【質問】開院後の市立根室病院の課題として、様々な機会を通じて病院職員と市民が交流し相互に理解を進め、市民・患者との信頼関係を構築する必要がある。

【答弁】市民ボランティアは、地域社会と病院との橋渡し役の役割もお願いできると期待。

地域に開かれた病院として市民との交流を深める方策を検討する。

【質問】生活保護基準以下の低所得者世帯が受けられる水道・下水道・市営住宅の料金等について、三

十％の減免率を引き上げるべき。

【答弁】今年八月から実施される生活保護基準の引き下げによる低所得者への影響を把握し、減免率も含め検討したい。

【質問】軽自動車税や法人市民税について標準税率を超過している税率を標準税率に戻すことの是非についてどう考えるか。

【答弁】安定的な行財政運営のため、引き続き制限税率の適用をお願いしたい。

地域経済の状況把握に努め、可能な限り様々な地域振興対策に充てていきたい。



久保田 陽 議員

【質問】国内の藻場が数万ヘクタール消滅している状況と消滅原因の「磯焼け」の道内への影響や根室沿岸海域の藻場状況について。

【答弁】国内の藻場は平成元年までの調査で、二十二万七千百ヘクタールと確認されており、元年までの十年間で、六千四百ヘクタール消滅している。

また、この三十年間で日本沿岸海域の海面温度が平均一・一℃上昇している現状認識で道東海域でも「磯焼け」が起ることも危惧してい

る。道内における

「磯焼け」対策を注視し、根室沿岸海域におけるコンブ藻場対策が十分な保全整備とするよう、今後さらに海面温度のモニタリング調査を継続することや、「北海道磯焼け連絡会議」などの参加を漁協等と協力し、漁場保全に向け情報収集に努める。

【質問】小中学校の授業で「新聞・ネット活用」授業の状況と課題及び今後の考え方について。

【答弁】今後は各小学校に子供新聞の選択を検討していく。

【質問】第九期総合計画策定に向けた取り組み状況、策定の意義と果たすべき役割。

【答弁】課長職等で構成する策定委員会の設置、市民意識調査や事業所訪問等による市民ニーズの把握。地域力が最大限発揮されるよう市民と行政がこれまで以上の結びつきを強める。

【質問】新しい総合計画の策定は、自治基本条例や議会基本条例の一角に位置付け、計画期間は市長任期の四年にしては。

【答弁】新しい総合計画の策定にあわせて条例の制定を検討。

【質問】新しい総合計画の策定にあわせて条例の制定を検討。



滑川 義幸 議員

計画期間については、全国自治体の動向に注視し検討していく。

【質問】根室港の整備について、市民目線での港づくりを是非検討しては。

【答弁】「みなとまちづくり」という視点で、市民参画を積極的に考え、あるべき姿を検討することは将来的に大切。

【質問】「防災・減災」に対応した港湾整備

【答弁】花咲港区の「津波防災全天候バス」は、本年度、必要な調査を実施するという説明を受け、実現に向け着実に動き出した。

【質問】「北特法」による隣接地域振興対策の財源は、主として基金運用益であり、「特特推進費」も国の公共事業とのパッケージ化等で使い勝手が悪く限界がある。真の財源確保に向けた「振興法」等の整備の取り組みが必要ではないのか。

【質問】「北特法」による隣接地域振興対策の財源は、主として基金運用益であり、「特特推進費」も国の公共事業とのパッケージ化等で使い勝手が悪く限界がある。真の財源確保に向けた「振興法」等の整備の取り組みが必要ではないのか。

【答弁】隣接地域の現実等は、領土問題未解決に起因する。北特法による財源措置はもとより、新たな法整備も視野に入れ隣接地域との協議をしたい。

【質問】根室と国後を結んでいた海底ケーブル通信施設の保存

【答弁】四島が日本の領土であった証となる施設であり、実際の整備に当たっては、関係団体との協議を経て、国にも協力を求めたい。

【質問】魚価安、燃油高騰等漁業の安定的な継続ができない状況の中、燃油対策制度の改善にどう取り組むのか。

【答弁】現在の漁業セーフティネット事業は、手続きの煩雑さ、積立金の漁業者負担等の問題点がある。

【質問】根室と国後を結んでいた海底ケーブル通信施設の保存

【答弁】安定的な漁業経営環境のため、制度改善を要望する。

【質問】根室と国後を結んでいた海底ケーブル通信施設の保存

【質問】根室と国後を結んでいた海底ケーブル通信施設の保存



神 忠志 議員



千葉 智人 議員

【質問】国が進める国家公務員の給与削減を地方公務員にも同様の措置を求めている。地方公務員の給与は各自治体の裁量で判断することが基本で国の要請は受け入れるべきではないと考えるが、根室市の対応はどうする考えなのか。

【答弁】今回の国の削減要請は地方自治の根幹に関わることであり到底容認できない。

しかしながら他の自治体ではやむを得ず給与削減に踏み切るところも出てきていることから、当市としても早急に結論

を出さなければならぬと考えている。

【質問】今年度から開校した歯舞小中学校で施設面での不具合や環境が変わったこともあり、それに対応できない生徒の不登校等の問題が起きているが、その対応について。

【答弁】施設の不具合については夏休み中に対応したい。不登校等への対応は現在も改善に向けて対応中。

今回のことを今後進められる学校統合などに向けての教訓とし、引き続き地域との連携を進めていきながら対応したい。



本田 俊治 議員

【質問】新病院仮開院後三ヵ月間の患者動向収益・状況について。

【答弁】入院・外来患者数は増加しているが、一人当たり診療単価が減っており、医療収益は改善に至っていない。

【質問】昨年十一月策定の収支計画「一般会計繰入金圧縮に向けた取り組み」に掲げたレベルの高い医療の提供や診療単価の引き上げについて、実行性の観点から現状をどのように認識・評価しているのか。

退の大変厳しい状況。一般会計繰入金縮減実現のためには、自立した経営基盤の構築、更なる医師招へいの推進による診療体制の充実が必要。

【答弁】現状では、引き続き収支均衡を図るための一般会計繰出金は必要と考えている。



壺田 重夫 議員

政策課題の解決と経済対策について、左記五点の質問をしました。

【質問】経済政策に係る行政の役割。

【答弁】市職員が広く民間事業者と向き合う機会を持つよう促し現場の経済感覚の把握に努める。

【質問】輸出促進支援事業の課題。

【答弁】複数の販売チャンネルによるリスクの分散、間接貿易の活用、費用対効果など行政支援の在り方などを検討。

【質問】移住交流事業の今後の在り方。

【答弁】経済的かつ生産的な視点を取り入れ多角的に事業を展開する。

【質問】企業誘致問題。

【答弁】地域力の強化に繋がる新たな企業参画の検討に取り組む。

【質問】国の企業版特区創設の方針について。

【答弁】早急な情報収集に努め地元のニーズを捉えながら有利に実現するよう対応を検討する。

【質問】温水プールにおける非行対策について。

【答弁】非行は一切なく施設荒廃もない。



小沼 ゆみ 議員

【質問】不妊治療は実施している医療機関も限られ道央圏に集中している。治療費も高額で、当市からだと交通費や宿泊費など重い負担も伴う。

他の自治体では北海道の助成事業に上乗せして支援している自治体も出てきている。当市も独自の支援策を検討すべき。

【答弁】過去五年間で道の助成制度を十三名の方が利用している。

負担が大きいことは認識しているので他市の状況を見なが

ら当市の支援策を前向きに検討したい。

【質問】次期の障がい者計画の策定期が近づいてきている。策定に際してはしっかりと障がい者の方々のニーズ調査を行い、策定に生かして行くべき。また、グループホーム等の整備も含めて生活基盤の安定化が必要と考える。

【答弁】グループホーム等の必要性も含めて、本年度中にニーズ調査を行い、課題を把握し必要な施策を検討したい。



五十嵐 寛 議員

【質問】水産系廃棄物処理施設の稼働を目指す新企業の現在までの動きと今後について。稼働開始のめどは。土地整備費用の圧縮は可能か。

【答弁】用地整備は今年中に終え近く売却協議に入る。稼働時期は明示できない。整備費用は圧縮できる。

【質問】次世代に継ぐ根室市墓地の在り方と合葬式墓地を含む今後について。

【答弁】合葬式墓地は全国的な課題。道内でも最近、札幌、小樽、北見、網走等で数千体納骨できしかも安い費用で納骨出

来る施設が整備されてきている。

根室市でも今後とも検討していく。

【質問】介護施設等の新設・増床や管理・運営に関する市の取り組みについて。今年度から道から市に監督、監査が移管された。その事への対応は。

【答弁】はまなす園を増床したがすでに満床。現在待機者は七十人、高齢者増加によりニーズは高まり、次期介護保険事業計画に位置付けたい。根室市の管理・監督・監査の係わりが強くなった。しっかりと厳正に対応していく。

平成25年 第 2 回定例会 意見書採決一覧表

意見書案	意見書名	賛 否 (○ ×)						
		市政クラブ	新風	創志クラブ	日本共産党	壺田	瀬谷	本田副議長
第 6 号	「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく具体的施策の早期実施を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○
第 7 号	精神障がい者の公共交通機関の割引制度拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○
第 8 号	輸入品の価格上昇への対策強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○
第 9 号	介護サービスから「軽度の高齢者」を分離することに関する意見書	○	○	○	○	○	○	○
第 10 号	解雇の自由化など労働者保護の規制緩和に反対する意見書	○	○	×	○	×	×	×
第 11 号	放射能汚染対策など原子力政策の転換と被災者支援の抜本的強化をもとめる意見書	○	○	×	○	○	○	×

平成25年 第2回定例会 各条例等採決一覧表

議 案	議 件 名	賛 否 (○ ×)						
		市 政 ク ラ ブ	新 風	創 志 ク ラ ブ	日 本 共 産 党	壺 田	瀬 谷	本 田 副 議 長
第 48 号	職員懲戒審査委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○
第 49 号	固定資産評価員の選任について	○	○	○	○	○	○	○
第 50 号	根室市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
第 51 号	根室市火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
第 52 号	根室市子ども・子育て会議条例	○	○	○	○	○	○	○
第 53 号	根室市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
第 54 号	根室市過疎地域自立促進市町村計画の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○
第 55 号	北海道市町村総合事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○
第 56 号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○
報 告 第 6 号	専決処分の承認を求めることについて（根室市税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○
報 告 第 7 号	専決処分の承認を求めることについて（根室市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○
第 58 号	根室市議会の定例会の回数に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○
第 60 号	根室市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
第 61 号	根室市議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○
第 62 号	専決処分事項の指定について	○	○	○	○	○	○	○

平成25年 第2回定例会 予算関係採決一覧表

第 57 号	平成25年度根室市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○
報 告 第 8 号	専決処分の承認を求めることについて（平成25年度根室市一般会計補正予算（専決第1号））	○	○	○	○	○	○	○
報 告 第 9 号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度根室市一般会計補正予算（専決第3号））	○	○	○	○	○	○	○
報 告 第 10 号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度根室市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（専決第1号））	○	○	○	○	○	○	○
報 告 第 11 号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度根室市流通加工センター汚水処理事業特別会計補正予算（専決第1号））	○	○	○	○	○	○	○
報 告 第 12 号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度根室市介護保険特別会計事業勘定補正予算（専決第1号））	○	○	○	○	○	○	○
報 告 第 13 号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度根室市後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第1号））	○	○	○	○	○	○	○
報 告 第 14 号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度根室市港湾整備事業会計補正予算（専決第1号））	○	○	○	○	○	○	○
報 告 第 15 号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度市立根室病院事業会計補正予算（専決第2号））	○	○	○	○	○	○	○
第 59 号	平成25年度根室市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○

第二回定例会各委員会質疑等

◆常任委員会

各常任委員会では、六月二十日に条例改正案などについて質疑を行い、いずれも全会一致で「可決・承認すべきこと」に決定しました。

質疑のあった主な議案の内容は、次のとおりです。

●総務常任委員会

「根室市税条例の一部を改正する条例」

※平成二十五年年度税制改正において、平成二十六年一月一日以降に居住する者に対する住宅借入金等特別税額控除について適用期限の延長と適用限度額が引き上げられたことなどに伴い、所要の改正をする内容です。

「根室市火災予防条例の一部を改正する条例」

※「住宅用防災警報器等の設置及び維持に関する基準に係る消防法施行令」及び「建築基準法施行令」の改正に伴い、所要の改正をする内容です。

●文教厚生常任委員会

「根室市子ども・子育て会議条例」

※「子ども・子育て支援法」により、「市町村子ども子育て支援事業計画」の策定が位置付けられ、この策定等にあたり、子ども・子育て支援に深く関わる市民の方より広く意見を聞くことを目的に、同法に基づく「根室市子ども・子育て会議」の設置について定める内容です。

◆予算審査特別委員会

予算審査特別委員会では、六月二十一日に平成二十五年年度補正予算案などについて質疑を行い、い

れも全会一致で「可決・承認すべきこと」に決定しました。主な議案・質疑の内容は、次のとおりです。

●平成二十五年年度根室市一般会計補正予算

総額四千四百三十四万八千円の追加を行うもので、主な内容は、身体障がい者知的障がい者福祉援護経費、春国岱原生野鳥公園管理運営経費、水産業振興経費、歴史と自然の資料館管理運営経費などです。

【質疑】

- ・資料館や資料館以外の文化遺産、歴史的遺産の活用等の総合的な考え方と街づくりとしての位置付けの必要性について
- ・放課後等デイサービス事業の内容と補助事業の内容について
- ・春国岱原生野鳥公園木道施設整備のこれまでの経過と観光資源としての位置づけについて
- ・水産多面的機能発揮対策事業の取組みの方向性について

●平成二十四年度市立根室病院事業会計補正予算（専決）

患者数の確定に伴う入院外来収益をはじめ、一般会計負担金及び補助金による繰入金等について、平成二十五年三月三十一日に補正を行った専決処分の承認を求めるものです。

【質疑】

- ・一般会計補助金の減額補正内容とその減額理由について

編集後記

議会基本条例制定の下、一問一答方式の質疑を導入した初めての議会が終りました。どの様に論点が明確となり、議論の深まりを見せるのか、注目されていました。が、初回という事もあり、理事者側、議員側も安全運転の様相でした。部長答弁が可能となったこともあり、詳細な質疑が行われたものと思いつつ、予算委員会とあまり変わらない状況と感じた議員も多かったのでは、これまでに以上慎重な調査研究が必要であると感じたところです。

もう1つの初めてとして、議会報告会が開催されました。新聞紙上でもご承知とは思いますが、参加者が少なく残念ではありましたが、先行して行っている他の市議会においても、初回は多数の市民参加があったものの、その後は減少するものが通例となっていくようですので、例えば地域単位や隣接する複数町内会単位での開催など、開催日時も工夫しながら、市民の皆様との意見交換の場として、参加しやすい議会報告会を開催せねばと考えております。九月一日には改選を迎えますが、根室市議会として、市民にわかりやすい開かれた議会を目指し、更に取り組んでいかなければならないものと考えているところです。



○千葉 俊治 橋本 竜一
◎千葉 智人 ◎永洞 均 文剛
◎委員長 ○副委員長